



平成28年1月19日
海上保安庁

日印海上保安機関長官級会合・連携訓練の開催について (結果概要)

1月13日(水)、海上保安庁とインド沿岸警備隊が原則毎年実施してきた「日印海上保安機関長官級会合」をインド・デリーにおいて開催しました。

また、15日(金)には、海上保安庁とインド沿岸警備隊の船艇・航空機が参加する連携訓練をインド・チェンナイ沖にて実施しました。

1. 開催概要

① 第15回日印海上保安機関長官級会合

日時： 1月13日(水) 午前10時00分～午後0時30分

場所： インド沿岸警備隊本庁内(デリー)

② 連携訓練

日時： 1月15日(金)、午前9時から午後0時まで

場所： インド・チェンナイ沖

2. 長官級会合への参加者

日本側： 花角 英世 海上保安庁次長 ほか

インド側： ラジェンドラ・シン 沿岸警備隊副長官 ほか

3. 長官級会合の結果概要

両機関は、これまでの協力・連携の結果が、両国の親善にとっても有意義なものであることを確認し、第15回という節目を機に更なる協力・連携の強化に向けた意見交換を行いました。具体的な合意事項は次のとおりです。

- ① 海賊対策に関する情報や知識・技能の共有の継続
- ② インド沿岸警備隊による横浜海上防災基地での潜水訓練参加に向けた事前視察の受け入れ
- ③ テロ対策をはじめとする、海上の安全及び治安の維持に特化した情報交換のための連絡窓口の新設
- ④ 専門家及び若手職員同士の交流の促進等のための定期的な実務者会合の実施
- ⑤ 次回長官級会合及び実務者会合の日本での開催

4. 連携訓練概要

本訓練においては、海賊等海上犯罪容疑船の捕捉を内容とする訓練や、日・印航空機による双方の巡視船への離着船訓練等を実施しました。

当庁からは、第九管区所属巡視船えちご及びえちご搭載機（回転翼1機）が参加し、インド沿岸警備隊からは、巡視船艇6隻、航空機3機（固定翼1機、回転翼2機）が参加しました。

なお、両機関の更なる連携・協力関係の強化のため、チェンナイからシンガポールまでの間、巡視船「えちご」において、インド沿岸警備隊職員2名が乗船研修を行っています。乗船中は、当庁の巡視船・航空機の運用をはじめとした、業務全般についての研修が行われています。



日印長官級会合（集合写真）



日印長官級会合（会議風景）



日・印航空機、搭載艇による容疑船の追跡



当庁巡視船に着船するインド沿岸警備隊航空機



インド沿岸警備隊巡視船に着船する当庁航空機

日・印航空機による双方の巡視船への離着船訓練